

国語プリント No. ()

配布日 月 日 曜

年 組 番 名前

百人一首をよむ 黄

恋の歌 2

85 夜もすがら物思ふころは明けやらで 閨のひまさへつれなかりけり

俊恵法師

【歌意】一晩中、思いにふけるこの頃は夜明けが遅く、寢室の戸のすき間まで薄情で朝の光が届かない。

【語句】夜もすがら……一晩中ずっと 閨……寢室 つれなかりけり……薄情だなあ。

【問題】この歌の話者は男性？女性？それはどうして？

「寢室の戸のすき間まで薄情」とあるけど、他に誰が薄情なの？

89 玉の緒よ絶えなば絶えねながらへば忍ぶることの弱りもぞする

式子内親王

【歌意】命よ、絶えてしまうならいつそ絶えてしまえ。生きながらえていると恋を堪え忍ぶ力も弱るかもしれないから。

【語句】玉の緒よ……命よ。 もともとは、玉を貫いた緒（ひも）のこと。「玉」は「魂」に通じ、人の命のこと。
忍ぶ……心を隠す。恋い慕う。

【問題】どうして命が絶えてほしい！と思っているの？